

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。9月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、質問時間を短縮し実施しています。ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、11月下旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

子ども関連、土砂災害

子ども関連について、次の質問が行われました。

【10歳代の投票率】

質問：平成27年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられた。10歳代の投票率は、その直後の選挙においては60%を超えたが、それを維持できていない。10歳代の投票率が下がってきている状況をどのように受け止めているか。

選挙管理委員会事務局長：全国的に見ても10歳代の投票率は下がっており、本市においても平成28年に執行した参議院議員通常選挙の10歳代の投票率は61・79%であったが、令和元年の選挙では44・27%に減少した。その一方、令和3年4月に執行した鎌倉市議会議員選挙においては、平成29年の同選挙に比べ、10歳代の投票率が8%ほど高くなり、43・41%であった。投票率はさまざまな要因に左右されるが、投票年齢の引き下げに対する一時的な話題性は失われつつあると捉えており、引き続き投票率



投票箱

投票箱

向上のための取り組みに努めていきたい。

質問：若者の投票率の向上について、これまでどのような取り組みを行ったのか。

同局長：投票年齢引き下げの法改正に合わせて、平成26年度から市内中学校を対象とした出前授業、模擬選挙を実施しており、これまで2524人の中学生に参加いただいている。令和2年度、3年度については、コロナ禍を踏まえ自粛しているが、安心して授業ができる状況を持って再開したいと考えている。

質問：鎌倉市では民間保育園や認定こども園などに障害のある園児が入園した場

合、児童の処遇向上のために補助金を交付している。

補助金の補助単価の見直しを積極的に行っていたらいいと思うが、いかがか。

市長：現在、補助金の補助単価の引き上げについて検討している。障害のある児童がその通園する保育園によって、処遇に差が出ないようにしっかりと検討を進めていきたいと考えている。

土砂災害について、次の質問が行われました。

質問：静岡県熱海市での土

流災害を受け、神奈川県は、神奈川県土砂の適正処理に関する条例（以下、県条例）に基づいて許可を与えた県内の盛土箇所について、令

和3年7月に緊急点検を実施したが、鎌倉市内に対

象箇所はあったか。

都市景観部長：鎌倉市内には県条例に基づく許可を要する2000平方メートル以上の埋め立て、盛土その他の土地への土砂堆積を行った箇所は、存在しないことを確認している。

質問：許可が不要な規模の残土などが外部から持ち込まれることについて、鎌倉市では何らかの規制やチェックはあるのか。

同部長：県条例では、建設工事またはストックヤードの区域から500立方メートル以上の土砂を搬出する場合は、土砂埋め立て行為を行う者があらかじめ土砂の搬出に係る氏名および住所、建設工事の内容、位置および区域、土砂の数量、搬出期間、搬出先に関わる事項についての計画を作成し、県に届け出を行う必要がある。

質問：令和3年5月25日に神奈川県が土砂災害防止法に基づき、鎌倉市内の急傾斜地の崩壊についての土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を公表した。市内でレッドゾーンに指定されたのは、何力所か。

同部長：5月25日に神奈川県により指定された鎌倉市内の急傾斜地の崩壊についてのレッドゾーンは404カ所であった。なお、既に平成29年3月24日に指定されていた土石流についてのレッドゾーンは20カ所であり、合計は424カ所である。

質問：土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とレッド

ゾーンの違いについて伺いたい。

同部長：レッドゾーンとは、イエローゾーンのうち、土砂災害が発生した場合に建物に作用する力の大きさが、通常の建物が耐えうる力を上回り、住民の生命、身体に著しい危害が生じると認められる区域が指定されたものである。指定に当たっては神奈川県が調査、測量を行い、土砂災害による衝撃力などを算出し、区域を決定した。

質問：市域のかなり広い部分がレッドゾーンに指定された。防災対策において、市民にとってはこれまでと何が異なるのか。

同部長：居室を有する建築物の新築、建て替えについては、土砂災害を防止、軽減するための基準を満たすものになっているかどうかについて、建築主事（※）等の確認が必要となる。また、土地や建物の売買等を行う際には、レッドゾーンに指定されている旨を重要事項として説明することが義務付けられている。そのほか特定の開発行為、住宅宅地分譲や、社会福祉施設、学校、医療施設の建築の際には県知事の許可が必要となり、土砂災害対策工事が求められることになる。

質問：土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とレッド

ゾーンの違いについて伺いたい。

同部長：レッドゾーンとは、イエローゾーンのうち、土砂災害が発生した場合に建物に作用する力の大きさが、通常の建物が耐えうる力を上回り、住民の生命、身体に著しい危害が生じると認められる区域が指定されたものである。指定に当たっては神奈川県が調査、測量を行い、土砂災害による衝撃力などを算出し、区域を決定した。

質問：市域のかなり広い部分がレッドゾーンに指定された。防災対策において、市民にとってはこれまでと何が異なるのか。

同部長：居室を有する建築物の新築、建て替えについては、土砂災害を防止、軽減するための基準を満たすものになっているかどうかについて、建築主事（※）等の確認が必要となる。また、土地や建物の売買等を行う際には、レッドゾーンに指定されている旨を重要事項として説明することが義務付けられている。そのほか特定の開発行為、住宅宅地分譲や、社会福祉施設、学校、医療施設の建築の際には県知事の許可が必要となり、土砂災害対策工事が求められることになる。

質問：土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とレッド

ゾーンの違いについて伺いたい。

同部長：レッドゾーンとは、イエローゾーンのうち、土砂災害が発生した場合に建物に作用する力の大きさが、通常の建物が耐えうる力を上回り、住民の生命、身体に著しい危害が生じると認められる区域が指定されたものである。指定に当たっては神奈川県が調査、測量を行い、土砂災害による衝撃力などを算出し、区域を決定した。

【用語の解説】

※建築主事

建物を建てる際の手続きである建築確認や中間・完了検査などを行う地方公共団体（都道府県・市町村など）の職員のこと。

一般質問項目一覧

一般質問の録画中継映像は、こちらからご覧いただけます▶



- ① 後藤 吾郎（ヴィジョン）
 - 1 コロナ禍における鎌倉市の医療・介護・障がい福祉について～現状とこれから～
- ② 中里 成光（ゆめみらい）
 - 1 防災とは
 - 2 自然災害激甚化・頻発化について
 - 3 市民の災害に対する備え、意識について
 - 4 地域内の連携について
 - 5 災害ボランティアセンター設置運営に関して
 - 6 他地域との防災都市連携
 - 7 持続可能なまちづくりについて気候変動への対策
- ③ 日向 慎吾（ゆめみらい）
 - 1 地域とのつながりや地域活動の活性化について
 - 2 良好な河川空間の確保について
 - 3 腰越駅から江ノ島駅間の安全対策について
- ④ 長嶋 竜弘（かわせみ）
 - 1 村岡新駅・本庁舎移転は妄想か？その実現性に迫る
- ⑤ 千 一（無所属）
 - 1 合理化と障がい者にとっての使

- いにくさとプライバシーについて
- 2 スケートボードによる路上での危険走行について
- 3 身体障がい者中心のグループホームについて
- 4 コロナワクチンについて
- ⑥ 大石 和久（公明党）
 - 1 松尾市長の政治姿勢について
- ⑦ 岡田 和則（鎌倉アプデ）
 - 1 鎌倉市における新型コロナウイルス感染症の統計について
 - 2 市民への食糧支援の状況と今後の取り組みについて
 - 3 避難所及び災害ボランティアセンターの実態について
 - 4 財政健全化への取り組みについて
 - 5 大船のまちづくりについて
- ⑧ くりはらえりこ（かわせみ）
 - 1 海辺の環境保全と道路通行の安全確保について（SDGs目標13・14・17）
 - 2 民泊を犯罪の温床や近隣の迷惑施設にしない対策について（SDGs目標8・11・12）
 - 3 市立病院が無い鎌倉の医療体制と搬送困難事例に対応する危機管理対策について（SDGs目標3・11・17）
 - 4 土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域のモニタリングについて（SDGs目標9・11・12・13）
 - 5 4年前の市長の政策マニフェス

- トについて（SDGs目標1～17）
- ⑨ 前川 綾子（ゆめみらい）
 - 1 地域・社会の担い手となる青少年の育成について
 - 2 防災について
- ⑩ 納所 輝次（公明党）
 - 1 学校教育におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）について
- ⑪ 保坂 令子（ネット）
 - 1 養育費の確保支援について
 - 2 まちづくり条例等の総合的な見直しについて
 - 3 鎌倉市全体のまちづくりにおける「本庁舎跡地」の整備について
- ⑫ 吉岡 和江（日本共産党）
 - 1 村岡新駅と深沢まちづくり計画について
- ⑬ 竹田 ゆかり（かわせみ）
 - 1 育ちを保障する「障害児保育」について
 - 2 特別教室空調設備設置、早期実現を
 - 3 婚外子差別解消―戸籍の更正申請について
 - 4 小中学校のプール清掃について
 - 5 ヤングケアラーの実態調査を
- ⑭ 井上 三華子（ネット）
 - 1 市内の盛土造成について
 - 2 土砂災害のレッドゾーン指定について
 - 3 市民協働による里山の保全について

- 4 コロナ禍での子ども達のケアについて
- ⑮ 児玉 文彦（公明党）
 - 1 鎌倉市の財政に関して～個人市民税確保の取り組みについて～
- ⑯ 高野 洋一（日本共産党）
 - 1 図書館の運営に関する課題について
 - 2 ICT教育が子どもたちに及ぼす影響と課題について
- ⑰ くり林こうこう（無所属）
 - 1 小児医療費助成制度における小中学生所得制限撤廃に向けて
 - 2 運転免許を自主返納した高齢者への助成について
 - 3 新しい生活様式への移行支援
 - 4 観光について
 - 5 市職員管理職の女性割合向上について
- ⑱ 武野 裕子（日本共産党）
 - 1 生活保護行政について
 - 2 民間学童保育の安定的運営のために
 - 3 岡本2丁目用地の筆界特定とその後
- ⑲ 藤本 あさこ（鎌倉アプデ）
 - 1 不登校対策に繋がるこどもの居場所について
 - 2 パートナーシップ条例について
 - 3 市長選挙の選挙事務について
- ⑳ 出田 正道（ヴィジョン）
 - 1 北鎌倉隧道について
 - 2 第20回かまくら子ども議会での質問に対する回答の再確認